

# 2018富士山BCスキー記録

鳥切記



期 日：2018年4月29日(日)

4月29日 快晴の富士山剣ヶ峰

山 域：富士山 (3776m) (富士宮口から剣ヶ峰)

メンバー：鳥切昇治単独

今年は3月から暖かく雪が少なそうなのでGW前半の 4/29 に単独で富士山バックカントリースキーに行ってきた。富士宮口新五合目から頂上の浅間大社奥宮に登り、剣ヶ峰まで往復。浅間大社奥宮から少し下ってスキーを履き、七合目下まで滑った。今年は残雪が少なく、八合目の下でスキーを外し、右の雪渓に移動して滑った。快晴で風も弱く、雪は少し重かったが無事に滑ることが出来た。

行動記録

4月28日(土) 天候：晴 自宅～富士宮口新五合目

午後自宅を出発、須走口五合目に向う。須走口「あざみライン」入口に通行止めの表示があったが、バリケードが開いていたので、あざみラインに入り走る。しばらく行くと再びバリケードがあり監

視員がいて 5/16 まで通行止めだと言う。(馬返し付近で大雨による土砂の流出があり、冬季閉鎖中)仕方なく引き返し、須走「道の駅」で思案する。2010年に富士宮口を滑っていて移動距離が



登山口のバリケード



富士宮口五合目登山口

近い富士宮口へ行くことにする。富士宮口新五合目(標高:2400m)に着くと夕方と言うのに車が多い。登山口はバリケードで閉鎖されているが、下って来た登山者やスキーヤーがバリケードを乗り越えている。状況をスキーヤーに聞くと「頂上から八合目まで滑り、スキーを外して別の雪渓に移り、七合目付近まで滑れた」とのこと。トレランシューズに履き替えて偵察に行く。宝永山荘まで登り上部を見ると筋状の雪ははるか上の方で、雪がまるでない。明日はスキー靴も担いで登った方が良さそうである。新五合目駐車場に戻る。駐車している車が多いのは明朝登る人達なのだろう。寝床を作り、夕食後休む。

コースタイム

自宅 13:07—15:50 須走「道の駅」16:20—17:15 富士宮口新五合目(宝永山荘まで偵察)

4月29日(日) 天候:快晴 富士宮口新五合目～富士山～富士宮口新五合目～帰宅

目覚めると外は明るくなっている。4時半、もう登って行く登山者やスキーヤーがいる。軽い朝食と用を済ませ、ザックにスキーとスキー靴を付け、トレランシューズで出発する。登山口の柵を乗り越える。ザックは重いが、溶岩が多い登山道なので歩き易い。2ピッチで雪渓末端に着く。トレランシューズをスキー靴に履き替え、アイゼンを着けて雪渓を登る。この雪渓が切れ、左手の夏道を少し登ると八合目の山小屋。再び右手の雪渓に出て登る。



夏道を登り七合目付近の雪渓へ向う

見上げると山頂まで点々と登って行く登山者が見える。単調な登りが続き嫌になるが、景色を眺



八合目付近から頂上へ向う登山者



真新しい鳥居が建つ浅間大社奥宮に着いた

めながら一步一步登る。雪面は歩行に丁度良い硬さである。

真新しい鳥居(平成28年建立)が見え、頂上の浅間大社奥宮に着いた。2010年に登った時より時間はかかっているが年齢を考えれば順調に登って来たと思う。まだ11時20分だ。

ザックを置いて剣ヶ峰へ登る。雪上は夏より歩き易い。風もなく剣ヶ峰からの360度の眺望が素晴らしい。南アルプスが良く見える。

浅間大社奥宮まで戻り、軽く食事を摂ってから



浅間大社奥宮から剣ヶ峰に向う



日本最高峰富士山剣ヶ峰(後方は白山岳)

スキーの準備をして下山にかかる。雪が少なく岩が出ていて危険なので鳥居の所から50m程下り、滑る準備をす



剣ヶ峰で



剣ヶ峰から南アルプス

見た感じと違い、意外と滑り易い。息が切れるので休みながら滑って行く。八合目の山小屋の下で滑りを止める。右の雪渓に移る為だ。スキ



八合目下で2m程の段差の壁を越え雪渓に移る一を外し、担いで右に20m程トラバースする。溶岩の上をスキー靴で歩くのはバランスが取れなくて大変だった。右の雪渓の側に行くと2m程の壁(段差)になっている。スキー靴で迂回して雪渓に降りるのは大変なので、スタンスが取れそうな壁の所を降りる。

雪面が火山灰と石で黒くなっている所を雪渓末端まで滑り、滑走を終了する。スキーを外し、登る時にアイゼンを着けた所まで下る。時間がかかった様な気がしたが、まだ1時間とかかかっていない。

る。スキーとザックを流さないよう注意してアイゼンを外し、スキーを履く。登って来る登山者を避け滑走を開始する。



八合目付近まで快適に滑って来た



八合目付近まで滑って来た。宝永噴火口が近くなる



夏道を下る。宝永山荘が見えて来た

ザックにスキーとスキー靴を付け、トレランシューズで夏道を下る。宝永山荘まで下ってくると、外国人観光客の家族連れやグループが結構登って来る。新五合目駐車場に到着。観光客と車で賑やかだ。荷物を車に積み込み新五合目を後にする。

祭日なので一般道で帰る。御殿場から246号、国府津から海岸に出て帰宅する。所々で渋滞したが無事自宅に帰着した。

天気はサイコー、ハードな一日だった割に、BCスキーは今一だった。

コースタイム

新五合目駐車場 5:40—8:15 七合目 8:20—9:05 八合目 9:15—11:20 浅間大社奥宮 11:30—11:50 剣ヶ峰 12:05—12:15 浅間大社奥宮 12:30—12:37 滑走開始点 12:50—13:35 滑走終了点 13:50—14:58 新五合目駐車場 15:32—18:59 自宅

(後記)

例年、バックカントリースキーの滑り収めを5月の富士山にして来た。昨年、喜寿を迎えて富士山を滑るのは止めにした。しかし、富士山を滑らないと何か物足りないものを感じていた。あと10日程で78歳を迎える。安全は第一であるが、自分の健康寿命を延ばすにはチャレンジする気力と体力も必要である。日頃から体力維持に努めて来た積りであるが、年を考えろ！と言う人もいるだろう。

頂上まで登れなくても良い。もう一度チャレンジしてみようと思い今回臨んでみた。幸いにも富士山の剣ヶ峰まで登り、七合目下まで滑って来た。どう言う訳か分からないが、頂上で何人かの人に年齢を聞かれた。余程の歳に見えたのだろうか?? 今年には雪が少なく雪渓が途中で切れ、大変だったが無事に一日を楽しむことが出来た。これからもチャレンジ出来るよう健康と体力維持に努めて行きたい。

以上